

レッスン 2 <https://1drv.ms/p/s!Aouy8oyeIrHHqBxXDXPVhyicsbDOU?e=6PjmsJ>

↑こちらはパワーポイントによるレッスン2です。クリックしてお使いください。

A. お祈りの暗唱と暗記

このレッスンと次の2つのレッスンの開始時に、レッスン1の始めに唱えたお祈りを唱えるよう勧めます。続いて、前もって選んでおいた2、3人の子に、自分の知っているお祈りを唱えてもらいましょう。その後、前のレッスンで習い始めたお祈りの続きを暗記するよう生徒たちを助けます。

B. 歌

次の活動は歌です。子どもたちは前回習った歌を一つと、下に挙げた新しい歌をうたいます。新しい歌はこのレッスンのテーマである正義についての歌です。<https://youtu.be/q2tYAEc9Zvw> こちらのURLで聴けます。

A Noble Way

D

Justice is a noble way

A

D

Justice brings a brighter day

G

D

A light to those in need

A

D

Shining through good deeds

D

A

D

Oh, justice is the way

D

We know 'Abdu'l-Bahá would share

A

D

Showing love and showing care

(continued on next page)

G D
He was content with less

A D
In order to bring happiness

D A D
He was content with less

D
To be just we have to give

A D
Share our love and joy to live

G D
Sharing blessings we receive

A D
A better world we will achieve

D A D
Oh, justice is the way

(repeat first stanza, singing last line twice)

C. 引用文の暗記

二つの歌に続いて、子どもたちはバハオラの書からの引用句を暗記するよう促されます。このレッスンのテーマ、および提案されている引用句を紹介するためのいくつかの考えをここに挙げておきます。

神様は正義を愛されます。正義があるとき、皆は人生の良いものを楽しみます。すべての子どもが学校に行くことができ、すべての家族が快適な家を持ちます。また、より多くを持つ人たちは、自分たちが神からいただいた恵みを、他の人の安寧あんねいのために喜んで差し出します。神は、私たちがお互いに公明正大であることを喜ばれます。誰かが不当に扱われているのを見たら、その人たちを擁護して助けなければなりません。友達や隣人たちのものを奪ってあずかはなりません。何かを分かち合うときは、誰も仲間外れにされることがないようにし、皆が公平に分け前に与ることができるようにしなければなりません。私たちが公平でいられるように、バハオラのこの引用句を暗唱しましょう。

正義の道を歩みなさい。誠にそれはまっすぐな道である。 100

子どもたちが上の引用句の暗記を始める前に、引用句について基本的な理解があることを確認することは重要です。子どもたちにとって、新しいかもしれない言葉の意味を説明するときの助けとなる文章を下にいくつか述べます。

<歩む>

1. 森の木々からたくさんの葉っぱが落ちて、道をおおいます。ふみこちゃんは森を通り抜けます。彼女は落ち葉で覆われた道を歩みます。
2. ペドロ君は友だちみんなが楽しく一緒に遊べるよう助けるのが好きです。ペドロ君とお友だちはとても仲良しです。ペドロ君は和合の道を歩みます。

<道>

1. ルイーザ君はロバを持っています。彼は放牧^{ほうぼく}のためにロバを牧草地に連れて行き、置き去りにしました。ロバは自分で家への道を見つけました。
2. 学校へ行くには二つの道があります。ミリーちゃんは、おばあちゃんの家^{いへ}の側を通る道^{みち}に行くのが好きです。

<正義>

1. カルロス君はクラスでみんなに配るようとクレヨン^{くろえん}を渡されました。クレヨンは10本で、子どもは5人です。カルロス君は子ども一人一人に2本ずつクレヨンを渡しました。カルロス君は、正義を持ってクレヨンを配りました。
2. アンナさんの畑^{はたけ}にある井戸^{いど}にはたくさんの水がありますが、隣人の井戸の水はときどき枯れてしまいます。アンナさんは隣人が困ることがないように、遠慮なく水を取れるようにしています。アンナさんは正義を愛します。

D. お話

子どもたちが引用文を暗唱することを学習した後、以下のストーリーを聞かせましょう。これはアブドル・バハがどんなに正義を実行されたかを示しています。

ある日、アブドル・バハはアッカからハイファに向かわれるとき、安い普通の馬車に乗られました。その馬車は普段、ぎゅうぎゅう詰^づめです。馬車の運転手はびっくりしました。アブドル・バハはどうして安い馬車に乗ってまで節約されるのだらうと思ったに違いありません。「閣下^{かつか}は自分専用の馬車で旅することを好まれるとばかり思ったのですが」と言いました。師は「とんでもない」とお答えになり、ハイファまでの道のりを、混み合った乗り合い馬車で行かれました。ハイファに着いて師が馬車から降りられると、一人の女の漁師^{いっぴき}が師のところへ助けを求めてやってきました。彼女は一日中、魚が一匹も釣れず、お腹を空かして待っている家族のところ^{ところ}に帰らねばなりませんでした。アブドル・バハは彼女に十分なお金

を与えてから、運転手に向かって「大勢の人がお腹を空かしている時に、どうして私が贅沢な馬車に乗ることができるでしょう」と言われました。

E. ゲーム「のどがカラカラ」

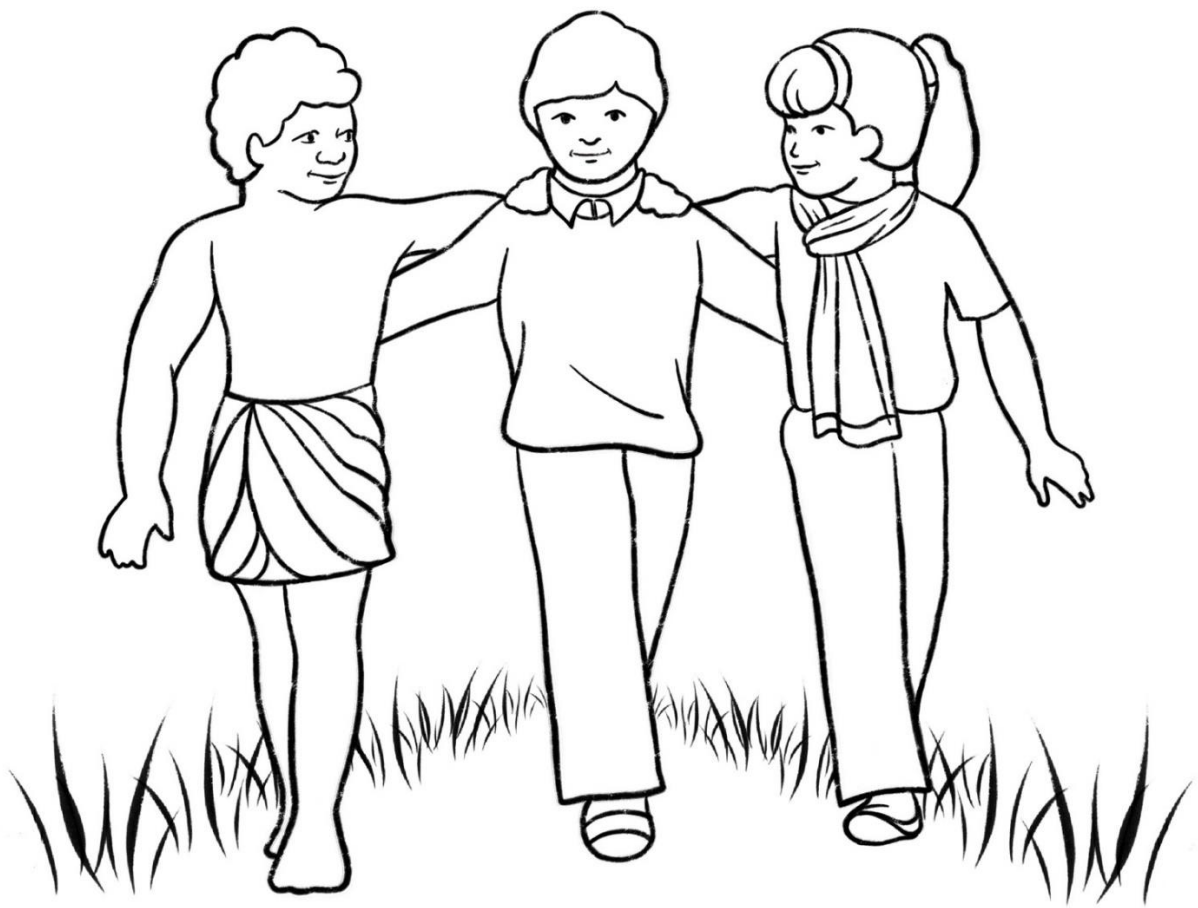
ストーリーテリングの時間の後、子どもたちはゲームをしたいと思うでしょう。肘を曲げることができないように子どもたちの腕に添え木をします。それから、皆は一緒に砂漠を歩いているところで、喉がカラカラに渴いているのだと想像させます。あなたがあらかじめ用意しておいたコップの水を子どもたちは見つけますが、それを飲む方法を考えださなければなりません。子どもたちは互いに助け合わなければ飲めないこと、互いに水をこぼさないよう注意しなければならないということを悟ります。

F. ぬり絵 2

次は、図2のコピーのぬり絵をします。子どもたちに配られたその絵の意味とこのレッスンのテーマとの関係を、皆が覚えた引用句を参照して説明できるように準備しておくことが大切です。子どもたちが暗記した文は絵の下にあります。

G. 終わりの祈り

ぬり絵を塗り終わったら、二、三人の子にお祈り、またはこれまでに覚えた聖句を暗唱してもらいましょう。最後にあなたがお祈りを唱えましょう。



せいぎ みち 正義の道を歩みなさい。まこと まこと 誠にそれはまっすぐな道である。